

# 総合的な学習の時間の「見方や考え方」(イメージ・案)

平成28年4月25日  
生活・総合的な学習の時間WG  
資料3-1

総合的な時間の 特質に応じて 育まれる 探究的な 見方や考え方 (イメージ・案)	高等学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決と新たな価値の創造に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 <u>広範かつ複雑な事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の複雑な文脈の中で物事を捉えて考えたり、自分自身の在り方生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探ってみ極めようとする</u> こと
	中学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 <u>広範な事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の文脈の中で物事を捉えて考えたり、自分自身の生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探ってみ極めようとする</u> こと
	小学校	実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課題解決に向けて、各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、 <u>複数の事象を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から捉えて考えたり、現実の文脈の中で物事を捉えて考えたり、自分自身の生き方と関連づけたりして捉えて考えたりしながら、物事の本質を探ってみ極めようとする</u> こと

各教科等の特質に応じた見方や考え方を  
総合的な学習の時間で総合的・統合的に活用

総合的な学習の時間において  
各教科の見方や考え方を使うことで、  
多様な文脈で使えるようになるなど、  
各教科等の見方や考え方が成長し  
各教科等の「深い学び」を実現

## 国語

言葉で表現したり、理解したりすることを通して、ものの見方や考え方を広げたり、深めたりすること、また、表現したり理解したりするときの言葉の働きや仕組みを捉えること。

## 算数

事象を数理的に捉え、論理的に考え、統合的、発展的に考察すること

## 生活

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、工夫、試行、予測することなどを通して自分自身や自分の生活について考えること

## 音楽

音楽に対する感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きとの視点で音楽を捉え、音楽的な特徴と、イメージや感情、生活や社会、文化等との関わりについて音楽活動を通して考えること。

## 図画工作

感性や想像力等を働かせながら、形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつなどして、自分や他者との関わりや、生活、社会等との関係の中で、見たり創造的に考えたりすること。

## 体育

運動やスポーツについて、その意義や特性に着目しつつ楽しさや喜びを見出し、公正、協力、責任、参画、健康・安全といった視点を踏まえながら「する・みる・支える」等の豊かな関わり方について考察すること

## 道徳

様々な事象を道徳的諸価値との関わりで多面的・多角的に捉え、よりよい自己の生き方や在り方について考察すること

## 特別活動

集団や社会の形成者という視点から様々な諸問題を捉え、各教科等で培った見方や考え方を効果的に活用して、よりよい学級・学校生活や社会及び自己の実現に向けて考察し、実践すること。

※各教科等における「見方や考え方」は各WGにおいて検討中。